

●清水質問

町政運営について質問させていただきます。

私は今回の公金紛失問題に対する、議案第 47 号、第 48 号の町長・副町長・教育長の三役の給料の 2 割カット×3 カ月の減額措置は必要ないという考えです。

むしろ、この三役の給料 2 割カット×3 カ月という少額で一時的な減額措置は、今回の問題に対する三役の認識の甘さを指摘されることに繋がりがかねず、かえって今後の町政運営について、住民の皆さまから反発を招く結果になるのでは、と危惧しています。

今、大島町役場に求められていることは、三役の給料カットなどではなく、徹底した再発防止策の提示と町政改革の推進なのではないでしょうか。

三辻町長が、今後も大島町のリーダーとして、継続して町政運営にあたって頂くためには、平成 27 年に町長に就任されて以来、掲げ続けている「島の皆が未来に希望を持って元気に働き、お年寄りが安心して暮らせ、子どもたちの明るい笑い声が絶えない、そんな島をつくることを基本的コンセプトとし、町政運営にあたる」という三辻町長の大島町の未来に懸ける熱い想いを、今一度、住民の皆さまに力強く訴える必要があると考えます。

ご案内かと存じますが、近隣の東京諸島の青ヶ島村では、2019 年に村役場の元課長が村の事業で不適正な契約を繰り返していた問題を受けて、現職村長が辞職し、辞職に伴う出直し村長選挙が行われました。

その結果「今後も島の住民の生活を守るため村長として活動したい」と表明した現職村長が再選を果たし、今も力強くリーダーシップを発揮されています。

三辻町長におかれましては、今後、町政改革を推進するにあたって、何か私たちの知りえない町役場の前例主義やしがらみ等に苦悩され、改革の障壁となっていることがあるのだとすれば、今年一年を「慎重かつ大胆に実行する年」と位置付けられている事から、こうした青ヶ島村の事例のような、思い切った出直し選挙も一つの方法と考え、事案や社会情勢の関係で当然ご批判もあろうかと思いますが、あくまでも町政改革推進のための一案としてご提案をさせていただきます。

これまで三辻町政を応援し、支持し続けてきた議員の一人として、今回の事案を住民とともに歩む民主的な町政を推進するための契機と捉え、これまでにない大胆な町政改革推進のための政策を、三辻町長の力強いリーダーシップのもと、打ち出して頂くことを心から望んでいます。

大島町役場の信頼回復に向けた町政改革の決意を三辻町長に伺います。

●町長回答

まずは、出直し町長選挙についてのご提案ありがとうございます。三役の給料カットについては、いろいろな意見があるかと思いますが、東京都とも相談のうえ、決定しました。なお、東京都が示した案よりも重くしましたが、少額で一時的な減額措置ということですが、昨日の議会全員協議会でも申し上げましたが、もし議会側の案があれば提示していただくようお願いします。場合によったら、議案も差替えさせていただきます。

再発防止策についてですが、小池議員の答弁と同様、「広報おおしま」7月号掲載予定の原稿の一部を朗読させていただきます。「今後、このようなことが二度と起きないように再発防止策として「公金等適正管理マニュアル」を策定するなど、公金取扱いの管理体制を強化・ルール化するとともに、職員の服務規律に対する徹底的指導や業務体制を今一度見直し、全職員一丸となって町民皆様の信頼回復に向けて、誠心誠意努めてまいります。町民皆様の信頼を一日も早く回復できるよう全力を尽くすことを申し上げ、私のお詫びの言葉といたします。」以上です。

さて、出直し町長選挙ということですが、清水議員も申ししていますが、まずは再発防止策を徹底すること、また現在、警察署が調査中であることなど、このような状況下の中で、辞任しましたら住民の混乱を招く恐れがあります。

しかし、町民の皆様をはじめ、多くの方々からの町政への信頼を著しく損ねましたことは事実なので、本議会において、私の辞職勧告の決議をしていただくよう、お願い申し上げます。決議していただけたら、私が辞任するか、議会を解散するか、のどちらかを決断することになりますが、議会には責任はありませんので、当然、私が辞任します。出直して再度出馬するか、どうかは、これまで私を支えてくれた後援会の方々や三宅都議会議員、また各関係者とも相談して決めます。